

届出者	株式会社富山銀行	設計者	株式会社日建設計
分類	銀行	所在地	下関町地内
設計コンセプト	400年の伝統ある金属の街「高岡」を拠点とする銀行本店として、「地域とともに発展し、県民皆様に愛される富山への郷土愛にあふれた本店」を目指した。また高岡の玄関口である駅前広場に面して、街のシンボルの体現と賑わい創出を意図したアルミルーバーを用いることで地元の方々に親しみを抱いてもらえるような佇まいとした。		
景観配慮箇所	位置、形態及び意匠、色彩、素材、敷地の緑化、その他（夜間景観）		
具体的工夫	<p>◆意匠：高岡を象徴する素材（アルミルーバー）によって“建築の顔”をつくりだしながら、高岡の景観に相応しい外観とした。さらにその間から建物の中が見えることで、室内の雰囲気滲み出る計画となっている。</p> <p>◆敷地の緑化：都市公園に開いたギャラリー周りなど、植栽を歩行者の目線にも入りやすいエリアに配置することで無機質になりがちな駅前空間に自然を感じられるようにし、市民の憩いの場となるようにした。</p> <p>◆その他（ライトアップ）：高岡の伝統・文化・自然をモチーフにデザイン構成し、駅側全面にアルミルーバーを用いた繊細な光の動きのライトアップを行うことで街の玄関口としての景観にも寄与した。</p>		
写真			